2026年9月26日　昼下がりの演奏会　＃11
於：CampGear&Cafe BASE

13:30～プレトーク／14:00～演奏会

- Performer -

Marimba&Percussion

中田龍河

中村和奏

奥柚葉

- Program -

「四季」より《秋》第3楽章（アントニオ・ヴィヴァルディ　作曲）

ユーモレスク Op.101-7（アントニン・ドヴォルザーク　作曲）

ルパン三世のテーマ（大野雄二　作曲）

歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より「間奏曲」（ピエトロ・マスカーニ　作曲）

Orange Valley Road（ジョーイ・エング　作曲）

赤とんぼ～ソロマリンバのための（山田耕筰 作曲／布谷史人 編曲　作曲）

《動物の謝肉祭》より「化石」（カミーユ・サン＝サーンス　作曲）

A Minute of News（ユージン・ノヴォトニー　作曲）

《くるみ割り人形》より「トレパック」（ピョートル・チャイコフスキー　作曲）

喜歌劇《こうもり》より「シャンパンの歌」（ヨハン・シュトラウス2世　作曲）

《アルルの女》第2組曲より「ファランドール」（ジョルジュ・ビゼー　作曲）

宝島（和泉宏隆　作曲）

「四季」より《秋》第３楽章

（アントニオ・ヴィヴァルディ　作曲）

アントニオ・ヴィヴァルディ（1678-1741）は、バロック時代を代表するイタリアの作曲家・ヴァイオリニスト。『四季』は、春・夏・秋・冬それぞれの季節を描いた４つのヴァイオリン協奏曲からなる作品である。《秋》第３楽章は、収穫を祝う人々が酒を飲み、歌い、踊る様子を描いた音楽。軽快なリズムと華やかな旋律が次々と現れ、秋の祭りのようなにぎやかさを感じさせる。

ユーモレスク Op.101-7

（アントニン・ドヴォルザーク　作曲）

アントニン・ドヴォルザーク（1841-1904）は、チェコを代表する作曲家。『新世界より』をはじめ、チェコの民族音楽の要素を取り入れた作品を数多く残した。この曲は８曲からなる『8つのユーモレスク』の中でも特に有名な楽曲である。

ルパン三世のテーマ

（大野雄二　作曲）

言わずと知れた 『ルパン三世のテーマ』は、作曲家・ジャズピアニストの大野雄二（1941-）による楽曲。テレビアニメ『ルパン三世』のために作曲され、1977 年のテレビシリーズ以降、さまざまなアレンジで親しまれている。

歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より「間奏曲」

（ピエトロ・マスカーニ　作曲）

ピエトロ・マスカーニ（1863-1945）は、イタリアの作曲家。代表作である歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》は、1890 年に初演された。「間奏曲」は、歌劇の中でも特に有名な部分。物語の緊張が高まる中で演奏される、静かで美しい音楽である。

Orange Valley Road

（ジョーイ・エング　作曲）

ジョーイ・エング（2001-）は、西オーストラリア州パース出身の打楽器奏者・作曲家・教育者。マリンバをはじめとする打楽器のための作品を数多く手がけている。この曲は、一台のマリンバを三人の奏者で演奏する作品。とてもエネルギッシュで緩急の激しい音楽である。

赤とんぼ～ソロマリンバのための

（山田耕筰　作曲／布谷史人　編曲）

『赤とんぼ』は、作曲家・山田耕筰（1886-1965）が作曲し、三木露風が作詞した日本を代表する童謡の一つ。今回は、この『赤とんぼ』を布谷史人がソロマリンバのために編曲した作品。１台のマリンバから、歌うような旋律と豊かな響きが広がっていく。

《動物の謝肉祭》より「化石」

（カミーユ・サン＝サーンス　作曲）

カミーユ・サン＝サーンス（1835-1921）の《動物の謝肉祭》は、さまざまな動物を音楽で描いた全 14 曲からなる作品。「化石」はその 12 曲目にあたる。《動物の謝肉祭》は様々な曲のパロディが取り入れられているが、「化石」では本人の曲である『死の舞踏』の旋律のパロディが印象的。タイトルの「化石」には、古い音楽が化石のように残っているという皮肉が込められているともいわれる。

A Minute of News

（ユージン・ノヴォトニー　作曲）

ユージン・ノヴォトニー（1960-）は、アメリカの打楽器奏者・作曲家。さまざまな打楽器の可能性を追求した作品を残している。この曲はスネアドラム１台のために書かれた作品。タイトルの通り「1 分間のニュース」を思わせるように、さまざまなリズムが次々と現れる。たった一つの楽器から、どれほど多彩な音が生まれるのか。スネアドラムの表現力に注目して聴いていただきたい。

《くるみ割り人形》より「トレパック」

（ピョートル・チャイコフスキー　作曲）

ピョートル・チャイコフスキー（1840-1893）

は、ロシアを代表する作曲家。バレエ音楽《くるみ割り人形》は、クリスマス・イブの夜を舞台にした物語である。この曲は、ロシアの民族舞踊をもとにした音楽。短い曲の中に、力強く跳ねるようなリズムが詰め込まれている。

喜歌劇《こうもり》より「シャンパンの歌」

（ヨハン・シュトラウス２世　作曲）

ヨハン・シュトラウス２世（1825-1899）は、「ワルツ王」と呼ばれたオーストリアの作曲家。喜歌劇《こうもり》は、彼の代表的な舞台作品の一つである。この曲は、華やかな舞踏会を描く作品の中でも特に有名な場面。シャンパンを讃える歌に合わせて、音楽も明るく軽やかに進んでいく。

《アルルの女》第２組曲より

「ファランドール」

（ジョルジュ・ビゼー　作曲）

ジョルジュ・ビゼー（1838-1875）は、フランスの作曲家。歌劇《カルメン》でも知られている。「ファランドール」は、南フランスのプロヴァンス地方に伝わる舞曲。二つの異なる旋律が交互に現れ、次第に重なり合いながら、音楽がどんどん力強くなっていく。

宝島

（和泉宏隆　作曲）

フュージョンバンド「T-SQUARE」の代表曲の一つ。作曲した和泉宏隆（1958-2021）は、T-SQUAREのキーボード奏者としても活躍した。1980年代に発表されて以来、軽快で爽やかなメロディーとリズムで多くの人に親しまれてきた。吹奏楽の編曲でも非常に有名な曲。

（文・仮屋賢一）

【演奏者】マリンバ・打楽器

中田龍河（なかだ・りょうが）

（Instagram：@nakadaryoga）

埼玉県越谷市出身。5歳よりピアノを、9歳より打楽器を始める。東京学芸大学国語選修を卒業後、大阪音楽大学音楽学部打楽器専攻へ3年次編入。「2024年度大阪音楽大学卒業演奏会」に出演。2026年3月、同大学専攻科器楽専攻打楽器を修了。関西打楽器協会主催 第39回打楽器新人演奏会にてヤマハ賞、全日本打楽器連盟 ルディメンツジャパンセミナー2025フレッシュコンサートにてグランプリを受賞。Marimbafest Australia 2025 Solo部門セミファイナリスト。これまでに打楽器を寺山朋子、伊坂浩嗣、ピアノを北村明子、芹澤佳司(副科)の各氏に師事。現在はフリーランスの打楽器奏者として、オーケストラや吹奏楽団への客演を務めるほか、アンサンブル活動や部活動指導にも精力的に取り組んでいる。本シリーズには#8《マリンバアンサンブル》に続いての出演となる。「打楽器アンサンブルHIBIKI」音楽監督を務めるほか、打楽器デュオ「AZURE」ではリサイタルを開催。妹・中田優愛菜とのマリンバデュオ「なかだがっき」としても活動し、2026年9月には第4回美山音楽祭に出演。同年12月12日(土)には、豊中市庄内のカフェ「路地裏のマチルダda」にて第2回マリンバコンサートを開催予定。

中村和奏（なかむら・わかな）

石川県加賀市出身。9歳より吹奏楽部で打楽器を始める。大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。同大学「2024年度卒業演奏会」に出演。第9回堺管打楽器コンクール一般の部第2位。関西打楽器協会主催第39回打楽器新人演奏会にてPearl賞受賞。全日本打楽器連盟ルディメンツジャパンセミナー2025フレッシュコンサートにてプレジデント賞受賞。これまでに葛西友子、田嶋翠の両氏に師事。現在、関西を中心に吹奏楽やオーケストラへの客演、打楽器アンサンブルでの演奏活動を行うほか、未就学児から社会人まで幅広い世代を対象とした打楽器指導にも力を入れている。本シリーズには#8《マリンバアンサンブル》に続いての

出演となる。SevenStepMusic 打楽器専科、ドラム専科、ドラム＆ピアノ科講師。中学校高等学校教諭一種免許状（音楽）取得。

奥柚葉（おく・ゆずは）

大阪府八尾市出身。3 歳よりエレクトーンを始め、10 歳から 12 歳までドラムを経験。中学入学と同時に吹奏楽部に入部し､打楽器を始める。高校在学時には、大阪府高校選抜吹奏楽団のオーディションに合格し、第 105 回全国高等学校野球選手権記念大会の開会式・閉会式にて演奏を担当。これまでに打楽器を葛西友子氏に師事。現在、大阪音楽大学音楽学部音楽学科打楽器専攻 3 年次在学中。学内選抜学生による第 85 回ミレニアムスチューデントコンサートにソロマリンバで出演。第 15 回関西の音楽大学オーケストラフェスティバルに出演。昼下がりの演奏会 #6 ではピアノで出演し、同演奏会 #8 ではマリンバを演奏。

プレトーク・司会：

仮屋　賢一（かりや・けんいち）

作曲家で俳人。2025 年、大阪・関西万博のステージのために『Uni-Tunes』を作曲、指揮も務める。2017 年、イタリア・アルバ音楽祭に参加、フルートオーケストラ曲を新作初演。2024 年 3 月には、私立高等学校の吹奏楽部定期演奏会において、オリジナルミュージカル曲の作詞作曲を担当。また、「美山音楽祭」の準備・企画・運営に尽力。今年 9 月 17 日から 23 日にかけて開催された第 4 回美山音楽祭では、MC やワークショップ、ラストコンサートの指揮なども行う。作曲は独学。今様音楽企画、関西現代音楽交流協会、関西室内楽協会。俳人や俳句講師としては、俳句雑誌「奎」代表を務めるほか、NHK ラジオ第一「関西ラジオワイド」内のコーナー「関西街角再発見」では、俳人として 2026 年度より案内人の一人に加わる。

昼下がりの演奏会
於：CampGear&Cafe BASE

《今後の予定》
#12：10 月 4 日（日）
２人のソプラノ《歌》＆ピアノ

#13：11 月 22 日（日）
２人のサクソフォン＆ピアノ

#14：12 月 20 日（日）
木管八重奏
最新情報は Web サイトをチェック！
13:30 ～プレトーク／ 14:00 ～演奏会
入場無料・0 歳から入場可・出入自由

12 月 25 日（金）夜
クリスマスコンサート開催決定！
メール・LINE でいち早く情報ゲット！

～「昼下がりの演奏会」とは～

ここ CampGear&Cafe BASE を、「誰でも気軽に音楽と触れ合える」場にしたい、そんな思いで 2025 年 11 月に開始したシリーズです。本格的でありながら、ふらっと訪れて、気軽に楽しめる演奏会です。

普段クラシックに馴染みのない人でも、よく行く公園でふらりと立ち寄った先で音楽に触れられる、そんな空間を作ることで、クラシックに親しみを持ってもらい、音楽の世界のファンになってもらいたい！　また、新進気鋭の若手音楽家にとって、演奏の場だけでなく、お客様と交流できる場を作りたい！　そんな思いで、この演奏会を企画しております。

主催：合同会社リコラボ
代表　仮屋賢一（作曲家・俳人）
ウェブサイト　https://ricollab-create.com/
お問い合わせ：075-275-7570
info@ricollab-create.com

右の QR コードから LINE 友だち登録して、イベント最新情報を GET ！　ここからお問い合わせもしていただけます。